

# ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして

特定非営利活動法人  
奥播磨夢倶楽部 兵庫県 宍粟市



## 1 社会資本の概要

旧国名の播磨（兵庫県中西部）の山間部にある奥播磨は、北は鳥取県東部（旧国名：因幡）、西は岡山県北部（旧国名：美作）と接しており、山陽と山陰を結ぶ国道29号が縦断しています。

国道29号沿線の揖保川流域や名水百選の千種川流域に広がる中山間地域である宍粟市は、棚田景観や紅葉の映える渓谷、日本の滝百選の原不動

滝、清流など、豊かで美しい自然や風景が四季折々の風情を織りなしています。しかしながら、まだ発掘されていない魅力ある地域資源がたくさん埋もれています。

また、域内には中国自動車道のインターチェンジもあり、京阪神をはじめ周辺エリアから豊かな自然を求めて多くの人々が訪れています。



宍粟市ひちりき神社のイチョウ



音水湖に架かるカラウコ大橋(国道29号)



「つなぐ棚田遺産」に選ばれた飯見の棚田での散策

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

奥播磨には、情報発信量が少ないため、周辺の地域と比べてもまだ認知されていない魅力的なスポット（棚田景観、紅葉の映える渓谷や滝・清流など）がたくさん存在していることから、これらの地域資源を発掘し活用した「フットパス」、「フェスタ」や「体験型ワークショップ」を開催し、地域の魅力発信を行っています。

「フットパス」は平成27年から実施しており、地元民が案内役として集落内を巡り魅力的なコンテンツを紹介。兵庫県内からだけでなく、全国からの参加があり、地域間交流を推進しています。

近年は河川の植物観察や美化活動へ派生させ、サステナブルな生き方を模索する若い世代の参加も増えており、持続可能な地域づくりを目指しています。



地域資源の掘り起こし「フットパス」



地域資源の集結「フェスタ」



体験型ワークショップ

## 3 活動の成果や波及効果等

地域資源を活用した「フットパス」は、平成27年から取り組んでおり、令和5年7月までに宍粟市内で連携・協働した地域づくり団体や自治体総数は15団体であり、街道フットパスコースは15コースとなっています。

フットパスのコースづくりでは、棚田遺産登録地域や農園、営農組合、郷土研究会などに協力をいただき、魅力的な地域資源を紹介しています。

「フットパス」には兵庫県内からだけでなく、全国各地から参加いただき、年間約100名~150名規模で実施しています。

近年ではリピーターも多く、交流人口の増加にもつながっています。

これらの「フットパス」を河川の植物観察や美化活動へ派生させたことで若い世代の参加が増えたことから、植生調査や自然観察会により多世代の参加につなげていく予定です。

また、協働した団体や自治体関係者の中には、地域資源の再発見によって、さらに地元愛（地域づくりへの熱意）を強くされた方が増えるなど、波及的な効果も確認されています。



フットパス全国大会  
イベント奥播磨



地域情報誌  
「To Next Harima」の刊行



よい自然観察ウォーク



揖保川での清掃活動

## 喜びの声

**受賞者**

特定非営利活動法人  
奥播磨夢倶楽部  
理事長  
春名 千代

**コメント**

奥播磨夢倶楽部は、平成26年12月に法人化し、今年でちょうど10年目を迎えます。節目にあたる年に栄誉ある評価をいただきましたことを、スタッフ一同大変うれしく思います。これまでの間に関わっていただいた皆さまに、感謝申し上げます。

今後も奥播磨夢倶楽部では、多様な人材がそれぞれに活躍できる「ひらかれた地域の実現」に向けて、邁進してまいります。

**活動の内容**

- 地域資源の掘り起こしと「フットパス」の開催
- 国道29号の地域資源を集結した「フェスタ」の開催
- 城下町の歴史資源を活用したイベントの開催
- 地域資源を活用した視察交流・体験型研修の受入
- ひらかれた地域づくりの情報を発信
- 地域づくり活動の支援

**活動の経歴**

平成26年 法人設立  
平成27年 地域資源を活用したフットパス開始  
「地域情報誌」発刊  
平成28年 視察交流・体験型研修を開始  
令和5年 近畿風景街道 近畿優秀活動賞 受賞  
令和5年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞

所在地	兵庫県宍粟市山崎町山田184番地1
活動主体及び連絡先	特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部 TEL/FAX :0790-71-0083 E-MAIL:okuharima-jimukyoku@outlook.jp
対象となる社会資本	国道29号沿線地域



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編